

怨の旗掲げデモ行進

水俣病 公害認定から3周年

水俣病の公害認定三周年の二十
六日、熊本市で患者や支援団体に
よる抗議のデモ行進と討論集会が
開かれた。

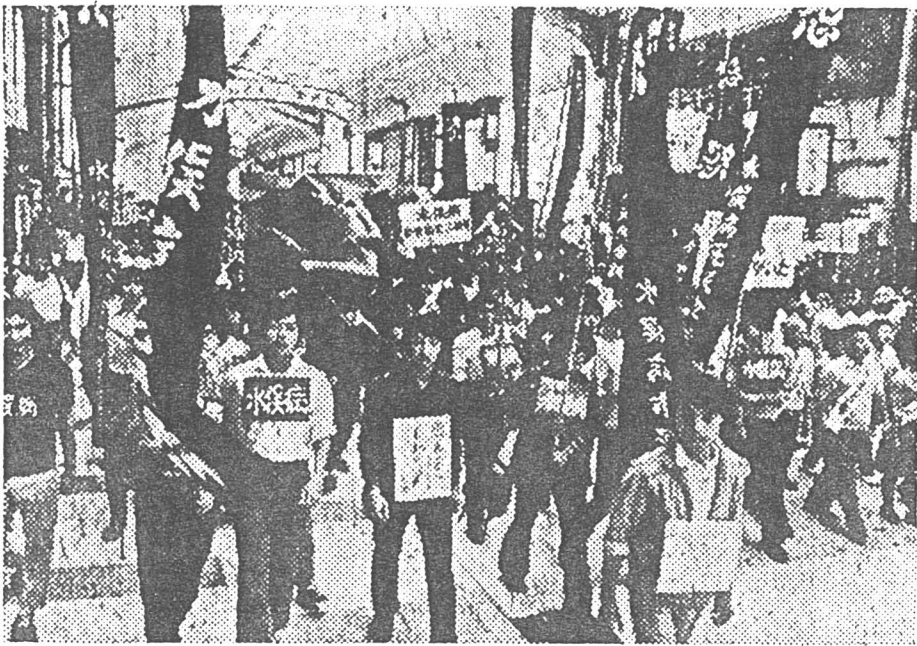
午後三時、熊本市白川公園に居
る家族の渡辺栄蔵代表、水俣病市

民会議の日吉フミ子議長、水俣病
を告発する会の本田啓吉代表ら百
七十人が集まり、渡辺さんらが三
周年を迎えた「水俣病闘争」の決
意を述べたあと「怨」の字を架め
ぬいた黒いのほりを先頭にプラカ

ードや患者の写真パネルを掲げて
上・下通を経て花畑公園までデモ
行進した。

デモ隊は「チツソ粉砕」「裁判
勝利」に加えて、最近新たな「攻
撃目標」にしている徳臣公害被害
者認定審査会長の退陣を求めるシ
ェプレヒコールをしながら、日曜
の目抜き通りを行進、下通では道
路いっぱいには広がって「チツソの
責任」「行政の怠慢」をアピール
した。途中、新市街では隊列が車
道いっぱいには広がったため制服警
官が出て規制した。

午後六時からは県福祉会館ホー
ルで討論集會が行なわれ、支援団
体の運動経過報告、今後の運動方
針を話し合い、新潟水俣病裁判判
決傍聴のため午後十時十五分宛の
「第二明星」で新潟へ向かう渡辺
さんら五人を見送った。



水俣病公害認定3周年のデモ行進（熊本市下通で）